

平成24年度第1回徳島県動物由来感染症対策検討会概要

講義

「宮城県仙台市の紅斑熱発生に係る疫学調査の事例」について

馬原アカリ医学研究所 藤田 博己 顧問

議題

- (1) 平成23年度第2回検討概要について
- (2) 徳島県狂犬病対応マニュアルについて
 - ・「徳島県狂犬病対応マニュアル」の見直しの進捗状況について報告
 - ・獣医師が鑑別の1つに入れ、狂犬病を疑うことから始まる重要性を再認識
 - ・ヒトに対する狂犬病予防ワクチンの不足が課題
- (3) 各動物由来感染症対策について
 - ①ヒトのオウム病発生事例をもとにした、動物由来感染症関係マニュアルでの位置付けの比較考察を報告
 - ・今後、様々な種類の感染症に対応できるマニュアルの枠組みを、広く考えていく
 - ②「コロナバクテリウム ウルセランス」モニタリング検査の追加報告
 - ・県内には、かなりの割合で分布している
 - ③「感染症流行予測調査の概要」について
 - ・インフルエンザと日本脳炎の感染源調査について、説明と報告
 - ④「鳥インフルエンザモニタリング」については全て陰性との報告。
 - ⑤ウエストナイル感染症サーベイランスについては、日本での馬の家畜の発生がなく、また平成15年からのサーベイランスの結果が全て陰性という事情等から、ウエストナイル感染症防疫技術検討会からの提言により、検査はできる体制ではあるが、サーベイランスは休止する。
 - ⑥野鳥における鳥インフルエンザマニュアルの更新状況と、検査案件なしとの報告。
 - ⑦E型肝炎に係るシカ血清検査について、剣山から北斜面の木屋平地区、三好市を中心とした地区での検査を計画。
- (4) 動物由来感染症関係ホームページ案について
- (5) その他